

PHILIPS

治療器

CPAP装置の使い方 (ドリームステーション)

※本書は取扱説明書に代わるものではありません。
必ず添付文書および取扱説明書をご覧ください。

機器の使い方
動画はこちら

モバイル端末から
コードを読み取り
動画へアクセス



1 CPAP装置 各部の説明

前面パネル

ディスプレイ
画面

コントロール
ダイヤル

治療オン/オフ
ボタン

ランプボタン

SDカード/
フィルタ
アクセスドア

機器背面

アクセサリドア

加温加湿器
接続端子

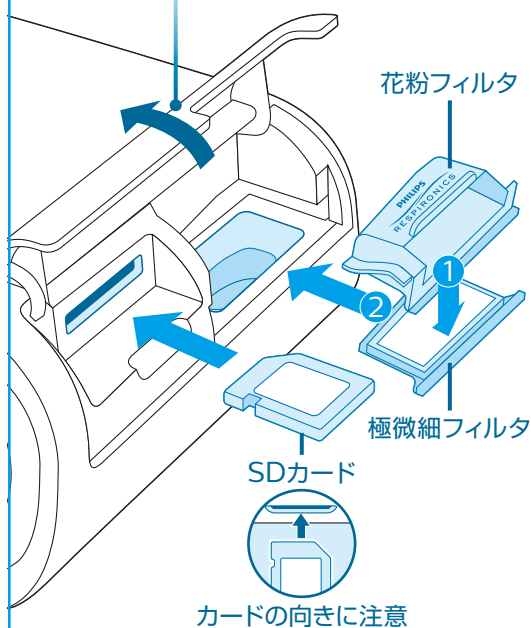
送気口

電源差込口

2 備品の取り付け

※ご使用の際は、以下の備品がセットされていることを確認してください。

SDカード/フィルタ アクセスドアを開きます。



フィルタの取り付け

左図のように花粉フィルタを極微細フィルタの上に乗せ、一体化してからセットします。

※花粉症の方には極微細フィルタ(オプション)をおすすめします。極微細フィルタは使い捨てです。

SDカードの取り付け

機器使用前に、左図を参考にSDカードを挿し込みます。

※SDカードは指定の医療機器にのみご使用ください。

データ転送中と表示されている間はSDカードを抜いたり電源を切らないでください。



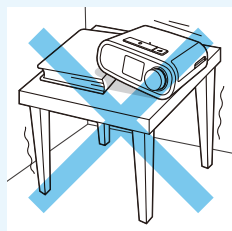
SDカード/フィルタ アクセスドアを閉じます。

3 機器本体の準備

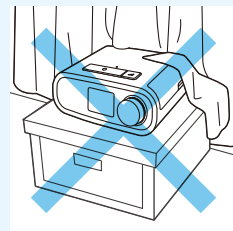
1

機器の設置

機器をしっかりとした平らな台などに置きます。



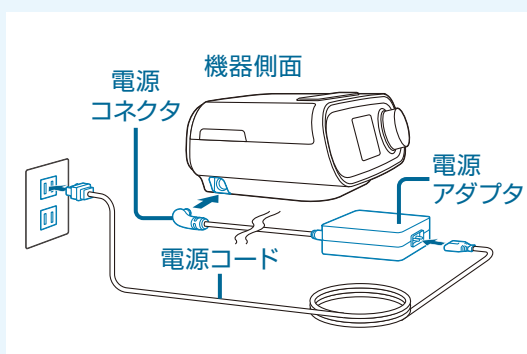
フィルタ部（空気取込み口）がカーテン布などでふさがれていないか確認してください。



2

機器と電源コード・電源アダプタの接続

電源アダプタのコネクタを、機器側面の電源差し口に差し込みます。電源コードと電源アダプタを図のように接続し、電源コードをコンセントに差し込みます。



注意

電源コード及び電源アダプタのコードは、過度の曲げや、ねじり、束ねなどによって断線し、発熱・発火におよぶ可能性があります。ご使用前には必ず破損がないことをご確認ください。

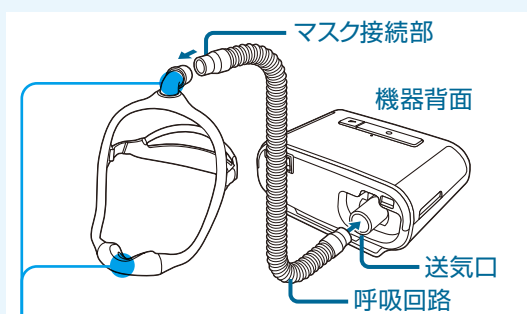
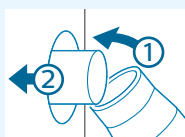
3

機器と呼吸回路の接続

呼吸回路の一方を機器背面の送気口に接続し、もう一方をマスクに接続します。マスクを鼻にあてヘッドギアで固定します。各種マスクの装着方法については別紙「マスク及びCPAP付属品の使い方」を参照してください。

回路を接続する時は…

- ① 接続部を覆うようにあて
- ② 奥まで差し込むと簡単に接続することができます。



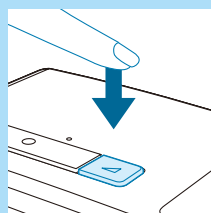
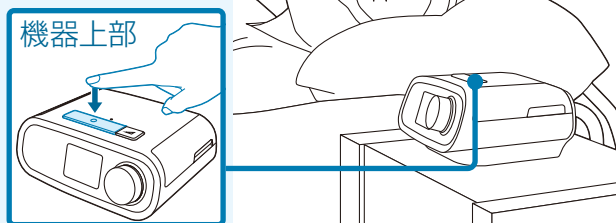
※呼吸回路は両端とも同じ形状です。

呼気ポートは、ユーザーの呼気を逃がすためにあります。呼気ポートは塞がないでください。

4 治療の開始と終了

送気の開始

機器上部にある 治療オン/オフボタンを押すと送気が始まります。空気が送られてきたら口を閉じて、鼻だけで呼吸してください。



ランプボタン

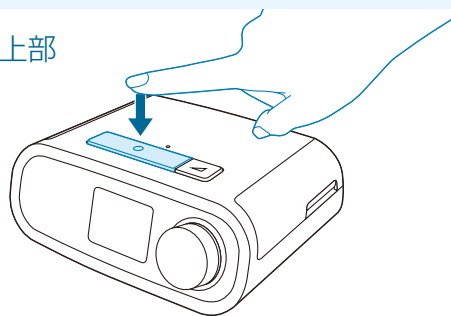
使用中に息が吐きづらく感じた時に押します。ランプボタンを押しと送気が最小ランプ圧まで下がり、徐々に治療圧まで上昇します。

※ ランプ圧は、医師の処方にて設定されています。

送気の停止

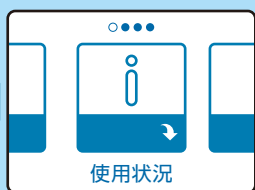
動作中に治療オン/オフボタンを押すと、送気が止まります。

機器上部



機器を使用しない間（日中など）は、電源コードはコンセントから抜いておくことをおすすめします。また、機器・呼吸回路・マスクなどは直射日光を避け、ホコリのかからない場所で保管してください。データ転送中と表示されている間はSDカードを抜いたり電源を切らないでください。

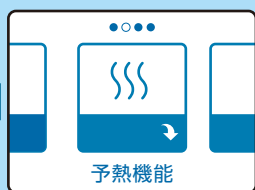
ディスプレイ画面のアイコン



使用状況

使用状況

治療の状況を閲覧することができます。



予熱機能

予熱機能

治療開始前に加温加湿器を温めておくことができます。



機器情報

機器情報

医療従事者が一部の設定を変更することができます。



ユーザー設定

ユーザー設定

必要に応じて調整可能な設定が表示されます。*1

*1: 医療従事者の設定によって、患者さんでは変更できない項目があります。

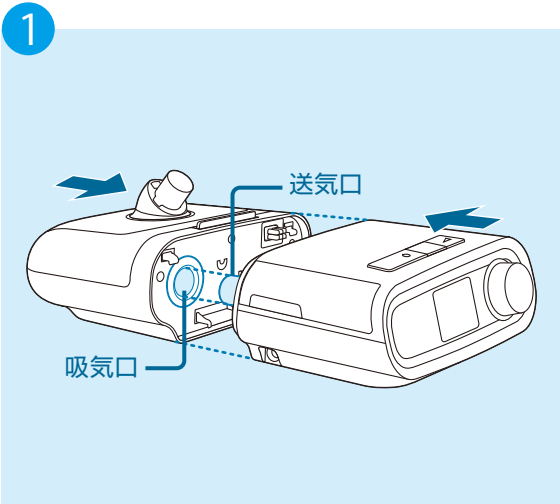
※加温加湿器をご使用の方のみ、この項目をご覧ください。

5 加温加湿器の組み立て・使用手順

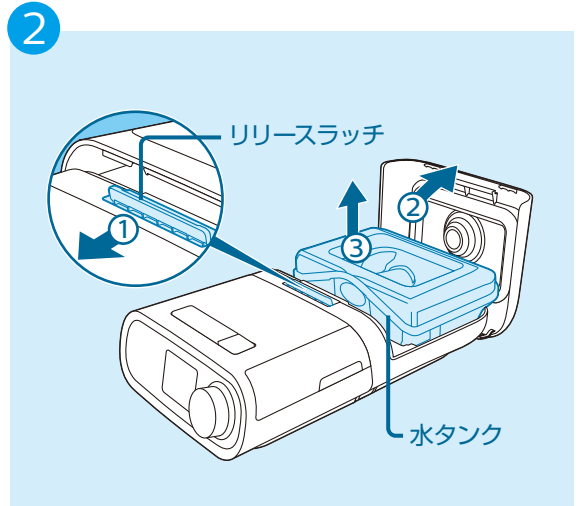
※加温加湿器をご使用いただくには医師の処方が必要となります。



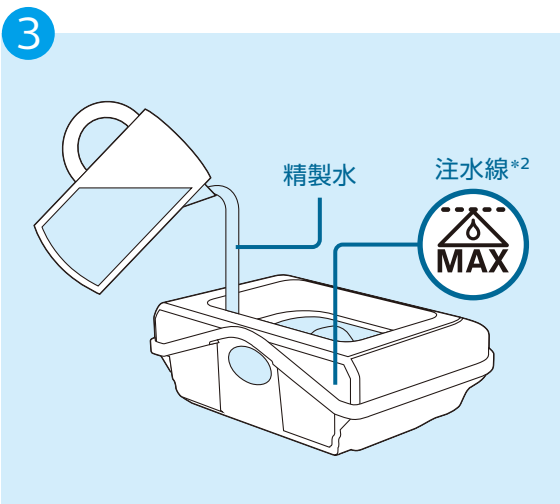
付属の取扱説明書を参照し、付属品がすべてそろっていることを確認してください。



CPAP装置の送気口と加温加湿器の吸気口を重ねて並べ、カチッと音がするまで押し合わせます。

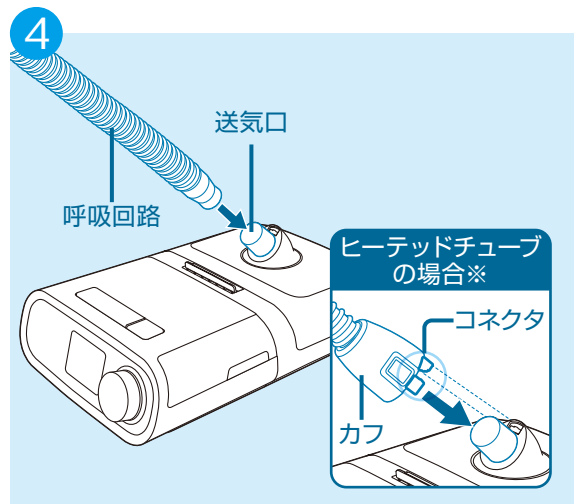


上部のリリースラッチを本体側に引き加温加湿器のカバーを開いて、水タンクを取り出します。



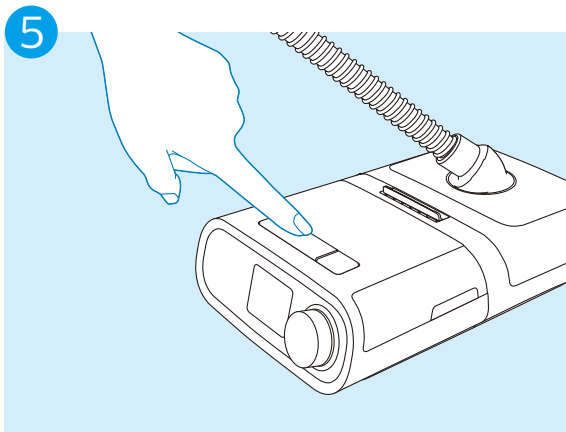
精製水（蒸留水）を注水してから加温加湿器にセットします。

*2 注水する際は、注水線のマーク  を超えないようにご注意ください。

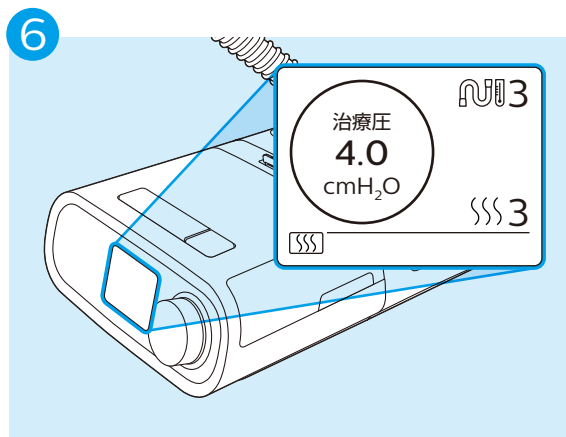


呼吸回路を加温加湿器の上部にある送気口にしっかり接続します。

※ヒートドチューブの場合は、カフのコネクタを送気口に合わせて接続します。
※ヒートドチューブはオプションです。

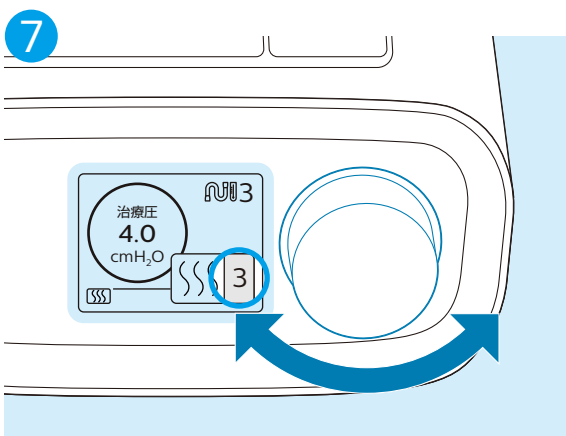


機器の送気をオンにして治療を開始します。加温加湿器は機器本体に連動して、自動で作動します。**3 4**の項目を参照してください。



機器の送気を開始すると、ディスプレイ画面に加湿器設定アイコン『SSS』が表示されます。

※ヒートドチューブを使用している場合、右上に回路温度設定『U』も表示されます。



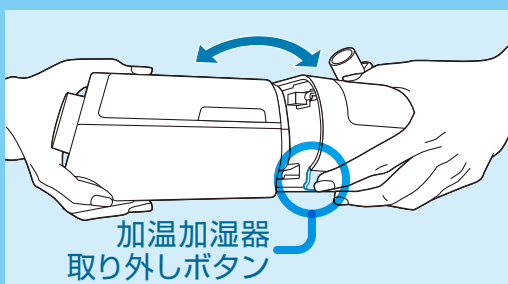
機器のコントロールダイヤルを回し、それぞれ医師から処方された処方値に数字をあわせます。

！ ご注意ください

- ・加温加湿器の水タンクには、必ず精製水（蒸留水）を使用してください。
- ・使用する前に必ず水タンクの水量を確認してください。
- ・水タンクは毎日洗浄し、使用してください。

加温加湿器を本体から取り外す際は…

加温加湿器のヒータープレートと水を約15分間冷ましてから水タンクを取り外します。加温加湿器の側面にある加温加湿器取り外しボタンを押しながら、機器本体と加温加湿器を引き離し、取り外します。



※セルラーモデムをご使用の方のみ、この項目をご覧ください。

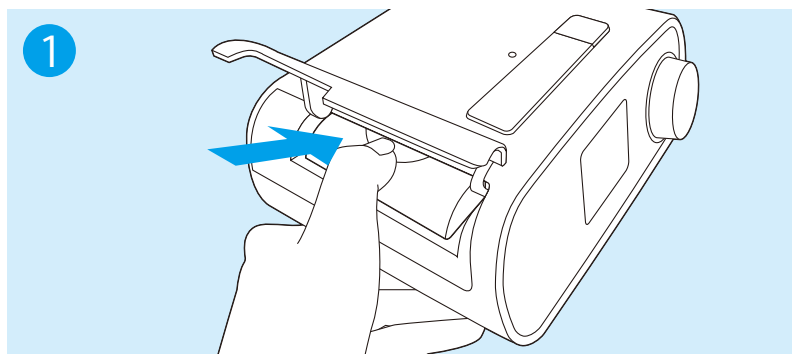
6 セルラーモデムの使用手順

※セルラーモデムをご使用いただくには医師の処方が必要となります。

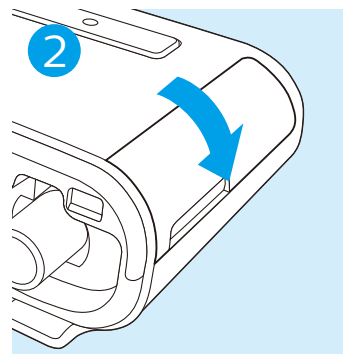


付属の取扱説明書を参照し、付属品がすべてそろっていることを確認してください。

モデムの取り付け

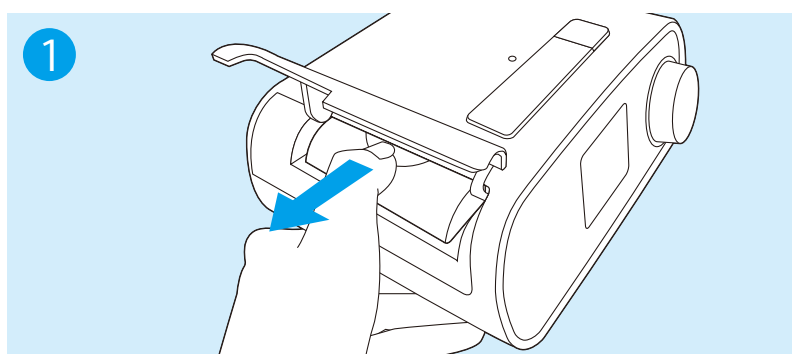


機器の電源がオフになっていることを確認してください。アクセサリドアを開き、モデムが所定の位置に「カチッ」とはまるまで挿入します。

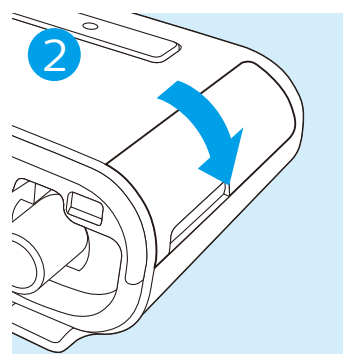


アクセサリドアを閉じます。

モデムの取り外し



機器の電源がオフになっていることを確認してください。アクセサリドアを開き、モデム外装のくぼみに指をそえて取り外します。



アクセサリドアを閉じます。

セルラーモデムをお使いの場合、いくつか注意点があります。詳細は裏表紙の ■ご注意ください の項目を参照してください。


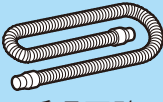
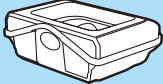

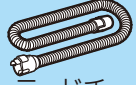
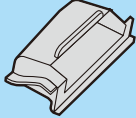


7 機器と付属品のお手入れ

お手入れ方法の動画はこちら

モバイル端末から右のコードを読み取り動画へアクセス



機器および付属品は、それぞれお手入れの方法やその周期が異なります。安全・快適にお使いいただくために、以下のお手入れを行ってください。

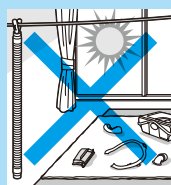
頻度	種類	お手入れ方法
毎日	 マスク	各部品を分解し、中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。よくすすぎ、風通しの良い所で陰干しします。
	 呼吸回路	中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。その後よくすすぎ、風通しの良い所で陰干しします。
	 水タンク	中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。必ずきれいな水ですすぎ、乾いた布で水気を拭き取り陰干しします。 ^{*3}
1週間	 ヘッドギア	マスクから外し中性洗剤を薄めたぬるま湯でもみ洗いします。洗たく機を使う時は洗たく用ネットに入れます。
	 ヒートドチューブ	中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。その後よくすすぎ、風通しの良い所で陰干しします。
2週間	 花粉フィルタ	花粉フィルタは6ヶ月ごとに交換してください。使用後は、ぬるま湯で洗浄し、陰干してください。フィルタは必ず乾かしてからお使いください。
	 加温加湿器本体	湿った布で表面を拭きます。送気口の内側は、市販のピン用ブラシや布でクリーニングします。 ^{*3}
1ヶ月	 極微細フィルタ (オプション)	極微細フィルタ (オプション) は30日間使用后、または汚れが目立つ場合に交換してください。使い捨てですので、洗浄せず新しいフィルタをお使いください。

*3: CPAP装置の使用後、電源コードを抜き機器と水タンクの水が常温まで冷めてから行います (15分程度)。

⚠️ お手入れの際は次の点にご注意ください



マスクや呼吸回路をベンジン、アルコール、塩素系洗剤などで洗わないでください。



マスクや呼吸回路は、日当たりの良い場所で干さないでください。

！ ご注意ください

- ・電源をオンにした後、モデムがコールする準備ができるまでに最長で30秒かかります。
- ・モデムは、ブローワーがオフの状態でおかつ手動によるコールがされなかった場合、接続して5分以内に自動的にコールします。
- ・セルラーモデムは携帯電話と同等の取扱注意が必要です。総務省は、ペースメーカーとの干渉の可能性を避けるため、**ペースメーカー等植え込み型医療機器の装着部位から15cm程度以上離すよう推奨しています。病院に行く場合や飛行機に搭乗する場合はモデムの電源を一時的にオフにしてください。**

設定方法 [ユーザー設定] メニューから [モデムオフ] を選択し、コントロールダイヤルを押します。(ただし、モデムをオフにして3日後に自動でオンに戻ります。)

機器についてのお問合せ

備品の購入や機器のトラブルなど、お問合せは以下にご連絡ください。お問合せの際は、お名前・ご利用の機器名・かかりつけの医療機関・取扱業者名などを必ずお伝えください。

かかりつけ医療機関

機器取扱業者

フィリップス・レスピロニクス合同会社

CPAPお客様コールセンター

よるは よいこきゅう

0120-48-4159

受付時間 9:00~17:30 ※日・祝日・年末年始休業

販売名: ドリームステーション Auto
販売名: ドリームステーション Pro

医療機器承認番号: 22800BZX00007000
医療機器承認番号: 22800BZX00314000

高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器
高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器

製造販売業者

フィリップス・レスピロニクス合同会社

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町一丁目825番地1
本社 〒108-8507 東京都港区港南二丁目13番37号フィリップスビル
マーケティング部 03-3740-3245

www.philips.co.jp/healthcare



© 2017 Philips Respironics GK

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくは「マーケティング部」までお問合せください。記載されている製品名などの固有名詞は、Philips、Respironics、またはその他の会社の商標または登録商標です。

PN 1127917 170209 R6-W